解答例

適性検査 |

1 100点

〔問題1〕 10点

〔見えるもの〕 とんびが空を飛ぶ様子(10字)

〔見えないもの〕 空を飛ぶとんびが乗っている空気の流れ(18字)

[問題2] 30点

「これね、ウッドチップっていうんだよ」という美つ喜ちゃんの言葉から、美つ喜ちゃんが望子を観察して、ウッドチップのふみ心地にうっとりして心をうばわれた望子の気持ちを正確に見ぬいていたことを感じ取った。(99字)

[問題3] 60点

(省略)

適性検査 ||

1 40点

〔問題1〕 15点

かざりの付け方は「 12] 通り

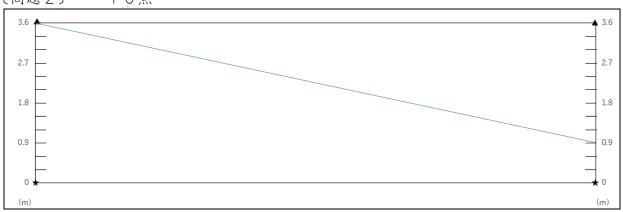
〔説明〕

A、B、Cのかざりを、それぞれ1個ずつを使ったならべ方は、下のだんから考えると ABC ACB BAC BCA CAB CBA の6通りである。

それぞれ一番下のだんからかざりを付け始める場合と、下から二番目のだんからか ざりを付け始める場合の2通りがあるから、かざりの付け方は

6×2=12(通り)となる。

[問題2] 10点



five (階段のはば)[2]m

図8のらせん階段の設置に必要な面積は

図7のらせん階段の設置に必要な面積の[2.25]倍

〔説明〕図7のらせん階だんのゆかに平行な面の面積の合計は

 $(2 \times 2 \times 3. 14) \times 2 = 25. 12 (m²)$

図8の内側の円の半径を1mにすると、外側の円の半径は3mとなる。

図8のらせん階だんのゆかに平行な面の面積の合計は

 $3 \times 3 \times 3$. $14 - 1 \times 1 \times 3$. 14 = 25. 12 (m²)

となり、図7のらせん階だんのゆかに平行な面の面積の合計と同じになる。

図7と図8のらせん階だんの設置に必要な面積はそれぞれ

 $2 \times 2 \times 3$. 14 = 12. 56 (m²)

 $3 \times 3 \times 3$. 14 = 28. $26 (m^2)$

となるから 28.26÷12.56=2.25(倍)

2 30点

[問題1] 15点

〔サケのルイベ〕

サケのルイベに「雪にうめて、こおらせる」という保ぞん方法が用いられているのは、小たる市の冬の平均気温がO度以下だから。

[マアジのひもの]

マアジのひものに「日光に当ててほす」という保ぞん方法が用いられているのは、 小田原市の冬のこう水量が夏に比べて少なく、日光に当てることができたから。

〔ブリのかぶらずし〕

ブリのかぶらずしに「あま酒につけて、はっこうをうながす」という保ぞん方法が用いられているのは、金沢市の冬はこう水量が多く、空気がしめっており、発こうが進む気温だから。

〔問題2〕 15点

(選んだ二つを○で囲みなさい。)



米がとれる地いきと小麦がとれる地いきの年平均気温と年間こう水量をそれぞれ比べると、米がとれる地いきの年平均気温は高く、年間こう水量は多いが、小麦がとれる地いきの年平均気温は低く、年間こう水量は少ない。

3 30点

〔問題1〕 14点

- (1)〔選んだもの〕 ウ
 - 〔理由〕 実験1から、色がついているよごれを最もよく落とすのは、アとウであることが分かる。そして、実験2から、アとウを比べると、ウの方がより多くでんぷんのつぶを減少させることが分かるから。
- (2) 5分後のつぶの数をもとにした、減少したつぶの数のわり合は、水だけの 場合よりも液体ウの場合の方が大きいから。

[問題2] 16点

- (1) せんざいの量を28てきより多くしても、かんそうさせた後のふきんの重さは減少しないので、落とすことができる油の量は増加していないと分かるから。
- (2) [サラダ油が見えなくなるもの] A B C D

(洗剤) 4 滴